



## 2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月7日

上場会社名 東洋紡株式会社

上場取引所 東

コード番号 3101 URL <https://www.toyobo.co.jp/ir/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹内 郁夫

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 石丸 園子 TEL 06-6348-3044

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト、機関投資家向け）

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	102,910	△2.2	5,566	80.2	4,267	111.8	1,573	100.7
2025年3月期第1四半期	105,175	8.4	3,089	-	2,015	-	784	-

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 1,981百万円 (△55.7%) 2025年3月期第1四半期 4,472百万円 (90.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	17.84	-
2025年3月期第1四半期	8.90	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第1四半期	611,512	228,652	31.6	2,193.95
2025年3月期	617,799	232,044	31.6	2,215.11

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 193,436百万円 2025年3月期 195,312百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	-	0.00	-	40.00	40.00
2026年3月期	-	-	-	-	-
2026年3月期(予想)	-	0.00	-	40.00	40.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	440,000	4.3	21,000	26.1	15,500	46.4	4,500	124.6	51.05

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無  
新規 ー 社 (社名)、除外 ー 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	89,048,792株	2025年3月期	89,048,792株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	880,798株	2025年3月期	876,140株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	88,169,159株	2025年3月期1Q	88,096,862株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は、TDnetで同日開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載しています。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### （1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、米国では、相互関税による景気後退の懸念が広がったものの、影響は限定的にとどまりました。中国では、不動産不況や消費低迷の長期化に対する政策の効果は限定的にとどまり、景気は足踏み状態が続いています。国内においては、世界経済の減速影響を受けるも、所得環境の改善に加え、設備投資の拡大により、景気は底堅く推移しました。今後は、米国の相互関税政策や長期化する地政学的リスクが、当社事業環境に影響を及ぼすことが懸念されます。

こうした事業環境のもと、液晶偏光子保護フィルム“コスモシャインSRF”は堅調に推移しました。加えて、包装用フィルム事業において、製造コスト上昇に対する製品価格改定を進めたことにより収益が改善しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期比23億円（2.2%）減の1,029億円となり、営業利益は同25億円（80.2%）増の56億円、経常利益は同23億円（111.8%）増の43億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同8億円（100.7%）増の16億円となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりです。

#### （フィルム）

包装用フィルム事業では、人件費や物流費などの製造コスト上昇に対して製品価格の改定を進めたことにより、収益が改善しました。工業用フィルム事業では、セラミックコンデンサ用離型フィルムは、販売が拡大しました。液晶偏光子保護フィルム“コスモシャインSRF”は強い需要に支えられ、堅調に推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は前年同期比25億円（5.9%）増の446億円、営業利益は同25億円（166.4%）増の40億円となりました。

#### （ライフサイエンス）

バイオ事業では、診断薬用原料酵素は国内外ともに堅調な需要に支えられ、販売が増加しましたが、前期の生産性低下の影響が残り、収益は悪化しました。メディカル事業では、人工腎臓用中空糸膜の販売は堅調に推移しました。医薬品製造受託事業では、製品価格の改定を進めたことにより、収益性が改善しました。

この結果、当セグメントの売上高は前年同期比0億円（0.6%）減の80億円となり、営業利益は同2億円（56.4%）減の2億円となりました。

#### （環境・機能材）

樹脂・ケミカル事業では、エンジニアリングプラスチックは、海外向けの自動車用途の販売は低調でしたが、製品価格の改定が進みました。工業用接着剤“バイロン”は、欧米向け塗料・接着用途や東南アジア向け電子材料用途の販売が増えました。水現像型感光性印刷版用途の光機能材料は、中国や東南アジア向けの販売が堅調に推移しました。

環境・ファイバー事業では、環境ソリューションは、EV市場減速の影響により、リチウムイオン電池セパレータ製造工程で使用されるVOC回収装置の出荷が減少しました。不織布材料は、国内生産体制の見直しが進み、収益性が改善しました。

この結果、当セグメントの売上高は前年同期比26億円（9.4%）減の254億円、営業利益は同2億円（15.0%）増の15億円となりました。

（機能繊維・商事）

衣料繊維事業では、中東向け特化生地は、強い需要により販売を伸ばしました。スポーツ用途は、不採算商材からの撤退を進めました。エアバッグ用基布事業では、日系顧客のアジアでの減産影響を受け販売量が減少しました。

この結果、当セグメントの売上高は前年同期比21億円（8.8%）減の219億円、営業利益は同1億円（64.6%）減の1億円となりました。

（不動産、その他）

不動産、エンジニアリング、情報処理サービス、物流サービス等の各インフラ事業は、それぞれ概ね計画どおりに推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は前年同期比1億円（2.5%）増の30億円、営業利益は同1億円（12.9%）増の5億円となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

総資産は、前年度末比63億円（1.0%）減の6,115億円となりました。これは主として現金及び預金が増加した一方で、受取手形及び売掛金が減少したことによります。

負債は、前年度末比29億円（0.8%）減の3,829億円となりました。これは主として社債が増加した一方で、支払手形及び買掛金や借入金が増加したことによります。

純資産は、配当金の支払により利益剰余金や非支配株主持分が減少したことなどから、前年度末比34億円（1.5%）減の2,287億円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の当社グループの連結業績は、概ね予想どおりに推移しており、2026年3月期通期の連結業績予想については、2025年5月12日に発表しました予想から変更は行っていません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	28,581	30,787
受取手形及び売掛金	92,545	84,860
契約資産	207	473
電子記録債権	13,400	13,396
商品及び製品	65,055	63,877
仕掛品	22,023	22,663
原材料及び貯蔵品	31,904	34,117
その他	14,109	12,787
貸倒引当金	△330	△357
流動資産合計	267,495	262,602
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	73,763	77,644
機械装置及び運搬具（純額）	63,720	66,082
土地	90,203	90,205
建設仮勘定	55,958	49,544
その他（純額）	12,875	13,568
有形固定資産合計	296,518	297,043
無形固定資産	5,032	4,971
投資その他の資産		
その他	48,821	46,966
貸倒引当金	△68	△69
投資その他の資産合計	48,754	46,897
固定資産合計	350,304	348,911
資産合計	617,799	611,512

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	48,389	42,097
電子記録債務	3,436	3,494
短期借入金	53,043	49,922
コマーシャル・ペーパー	5,000	5,000
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	11,684	7,829
引当金	5,306	3,051
その他	23,463	24,886
流動負債合計	160,320	146,280
固定負債		
社債	67,000	77,000
長期借入金	114,343	115,365
再評価に係る繰延税金負債	18,990	18,990
役員退職慰労引当金	209	159
退職給付に係る負債	14,122	14,186
その他	10,770	10,880
固定負債合計	225,435	236,580
負債合計	385,755	382,860
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	51,730	51,730
資本剰余金	32,661	32,661
利益剰余金	68,967	67,013
自己株式	△925	△925
株主資本合計	152,433	150,479
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,857	1,895
繰延ヘッジ損益	12	△12
土地再評価差額金	40,174	40,174
為替換算調整勘定	△603	△619
退職給付に係る調整累計額	1,439	1,519
その他の包括利益累計額合計	42,879	42,957
非支配株主持分	36,732	35,216
純資産合計	232,044	228,652
負債純資産合計	617,799	611,512

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	105,175	102,910
売上原価	82,082	77,726
売上総利益	23,093	25,183
販売費及び一般管理費	20,004	19,617
営業利益	3,089	5,566
営業外収益		
受取配当金	145	146
為替差益	444	—
その他	447	558
営業外収益合計	1,036	704
営業外費用		
支払利息	429	671
為替差損	—	416
その他	1,681	916
営業外費用合計	2,110	2,004
経常利益	2,015	4,267
特別利益		
関係会社株式売却益	360	—
投資有価証券売却益	2	—
特別利益合計	362	—
特別損失		
固定資産処分損	295	324
退職給付制度改定損	—	939
特別損失合計	295	1,263
税金等調整前四半期純利益	2,082	3,004
法人税等	467	1,034
四半期純利益	1,614	1,970
非支配株主に帰属する四半期純利益	831	397
親会社株主に帰属する四半期純利益	784	1,573

## (四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	1,614	1,970
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	270	37
繰延ヘッジ損益	△6	△5
為替換算調整勘定	2,235	230
退職給付に係る調整額	63	81
持分法適用会社に対する持分相当額	297	△333
その他の包括利益合計	2,858	11
四半期包括利益	4,472	1,981
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,297	1,651
非支配株主に係る四半期包括利益	1,176	330

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

## I 前第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日 至2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	フィルム	ライフサイ エンス	環境・機能 材	機能繊維・ 商事	不動産	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	42,104	8,080	28,057	24,041	1,056	103,338	1,837	105,175	—	105,175
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	518	5	2,009	313	300	3,145	2,405	5,550	△5,550	—
計	42,622	8,085	30,065	24,355	1,356	106,483	4,242	110,725	△5,550	105,175
セグメント利益	1,504	375	1,273	199	478	3,829	6	3,835	△746	3,089

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建物・機械等の設計・施工、情報処理サービス、物流サービス等の事業を含んでいます。
2. セグメント利益の調整額△746百万円には、セグメント間取引消去234百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△981百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的研究に係る費用です。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2025年4月1日 至2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	フィルム	ライフサイ エンス	環境・機能 材	機能繊維・ 商事	不動産	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	44,576	8,033	25,422	21,914	1,114	101,059	1,850	102,910	—	102,910
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	217	28	1,960	353	281	2,838	2,434	5,272	△5,272	—
計	44,793	8,061	27,382	22,267	1,395	103,897	4,284	108,181	△5,272	102,910
セグメント利益	4,005	164	1,463	70	498	6,201	49	6,250	△684	5,566

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建物・機械等の設計・施工、情報処理サービス、物流サービス等の事業を含んでいます。
2. セグメント利益の調整額△684百万円には、セグメント間取引消去109百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△793百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的研究に係る費用です。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む）は、次のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	5,601百万円	5,859百万円